



NEWS

2022 1・15

令和4年1月15日発行

<医療法人社団 佐々木クリニック ケアハウス・ローズマリー>

〒191-0054 日野市東平山 3-1-1 ☎042-585-8062

～明けましておめでとうございます～

本年が、ご利用者・ご家族の皆様にとって、より良き年でありますように、心より祈念いたします。

一昨年来のコロナ禍で、慌ただしい日が続きますが、ご利用者の皆様、ご家族の皆様から多大なご協力をいただき、当施設の運営が順調にできていることを心より御礼申し上げます。昨年はワクチン普及まで頑張りましょうと述べまして、ご利用者の皆様・職員全員に接種を済ませました。それでも未だもう少しの辛抱が必要なようです。

冬の寒さや、昨年来のコロナ禍による行動制限で、身体を動かす機会が減っていますが、それで体力が低下することのないように、職員はいろいろ工夫をしております。そしてご利用者の皆さまにとって、心や体に快い「楽しみ」の機会を増やしながら、日々の生活や人生が豊かになるように努めたいと思っております。

当施設では、日常的な介護・リハビリ・医療だけでなく、一日の生活、また季節ごとの行事、保育園児とふれあい等にいろんな工夫を凝らし、ご利用者・職員ともども、充実した日々なるように努めてまいります。

先日も保育園ひよこハウスの子どもたちから、ガラス越しに、自分たちで制作したサンタさんの小さな人形のプレゼントがありました。また普段、中庭で元気に遊ぶ子どもたちの姿は、見ておられる利用者様の表情からも「元気のもとになっている」と読み取れます。

コロナ明けには、ひよこハウスの子どもたちの訪問や、プロの演奏家によるピアノ、バイオリンコンサートを始め、フラダンス、古典芸能など多彩な催しも考えております。

特に、保育園児たちは、節分、七夕などの行事で、当施設に尋ねてきて、ご利用者の皆さんと交流しています。子どもたちは、利用者の皆様に笑顔で迎えられて、喜びを感じ、人生を学んでいます。また手作りのプレゼントで、利用者の皆さんに喜んでいただくことも予定しています。

人生はいろんな出会いがありますが、当施設では、このような出会いをコロナ禍だけでなく、インフルエンザや胃腸炎などの感染症の時期でも、上手く感染を回避しながら、行っていきたいと考えています。

本年もよろしくお願い申し上げます。

代表 佐々木榮一より

